

佐伯市民大学 ～令和四教堂～



第11回
講演会

生産性を高める コミュニケーションの作り方入門

受講料 **無料**



日本の生産性は、なぜ上がらないのでしょうか。

近年、大きな要因の一つとして、“ミスコミュニケーション”が注目されるようになってきました。日本社会では、まじめに話し合っているはずなのに、合意形成や新しいアイデアが生まれにくい場面が多く見られます。そのミスコミュニケーションの要因の一つが「最初に思いついた考え（直感的判断）」を見直さないまま、話が進んでしまうことです。

人は誰でも、自分の考えが正しいと思いたくなり、都合のよい情報だけを集めてしまいます。これを「**確認バイアス（思い込み）**」といいます。

本講演では、こうした思い込みに気づき、自分の直感的判断をいったん「仮の答え」として見直すための**認知開発[®]手法**を紹介します。判断のもとになっている考えや前提を言葉にし、他者と共有することで、考えを柔軟に更新できるようになります。学校や職場で話し合いの質を高め、新しい価値を生み出すための、実践的で分かりやすい方法をお伝えします。

とき

令和8年 **3月15日** 日
開場 14:00 / 開演 14:30

対象

中学生以上

定員

200名
先着順

ところ

佐伯市保健福祉総合センター和楽 大研修室

申込
期限

令和8年 **3月6日** (金)
17:00まで

※申込期間終了後、申込者には、メール又は郵送で詳細を通知します。

講師

合同会社アースボイスプロジェクト 代表

えのきだ りゅうじ

榎田竜路 氏

音楽家・教育者・メディアプロデューサー。日本の伝統文化にある「型」が、「ものの見方」や「直感」を形づくっていることに着目し、その型を変容させることで、直感や考え方そのものを育て直す**認知開発[®]手法**を体系化。

判断の前提を可視化し、対話と創造を変える手法は、教育・自治体・企業など全国で導入されている。「感性は鍛えられる。物語は力になる。」—その実践を現場から伝えている。

著書：『生産性の本質は「感じ方」にあった
～「認知開発手法」で新たな価値を見出す力を身につける～』
(金風舎、2022/ 電子書籍、プリントオンデマンド)
<https://amzn.asia/d/46C8e8F>

申込
方法

はがき又はメールで下記必要事項を記入の上お申し込みください。

①住所 ②氏名 ③年代 (中学生・高校生は学校名と学年)
④電話番号 ⑤メールアドレス (お持ちの方のみ)

※託児、手話通訳、要約筆記をご希望の方、車いすをご利用の方はその旨をご記入ください。

※ご記入いただいた個人情報は、講演会開催に係る手続き及び今後の運営の参考のために利用させていただきますが、それ以外の目的には利用しません。
また、外部に提供することもしません。

【はがき宛先】

〒876-8585 佐伯市中村南町1番1号
佐伯市政策企画課 宛

【メール】 sseisaku@city.saiki.lg.jp

又は、二次元コードの専用申込
フォームからお申し込みください。



主催

佐伯市

問い合わせ

佐伯市政策企画課

電話 0972-22-4104

メール sseisaku@city.saiki.lg.jp

佐伯市民大学～令和四教堂～ とは

市民が幅広い分野で学び、佐伯人(さいきびと)としてクオリティの高い市民生活の実現を目的として、令和2年度に開講されました。

市民大学を通じて、当市をとりまく環境や諸問題について学び、協働の担い手として自らが地域貢献することの意義を学ぶ場を創ります。